「園の教育活動についての評価」（アンケート）結果

30.3.15

１　実施月日

平成31年2月

２　集計結果

園児137人に配布、108人から回答（回答率：78.830％）

３　まとめ・講評

* 全体を通して、プラス評価の「そう思う」「まあ、そう思う」を合わせて、90％以上が20項目中、12項目と多く、幼稚園の運営について、一定程度の評価をいただいている。しかし、前年度はプラス評価が15項目だったことに比べて、2項目少なくなっている。
* 評価の最も低かった項目は、③「子どもの思いを、友だちや先生に伝えている」である。今年度：76％、前年度：89％と13ポイントも低くなっている。年齢による違いについては、未満児：75％、以上児：78％と有意差がない。クラス別では、保育園及び年長：76％、年中：80％、年少：95％であるが、プレが50％と低くなっており、プレに引きずられたものと思われる。
* プラス評価の下位の二番目は、「⑤給食やおやつを楽しみにしている」の79％となっている。8月に実施した「給食アンケート」の「問9」で、同じ質問をしているが、69％に止まっている。この10ポイントの増加は、「給食アンケート」の対象が幼稚園（1号認定）で、今回は全園児としたことが要因である。つまり、幼稚園のプラス評価が75％にとどまっていることに比べて、保育園及びプレのプラス評価が86％と高く押し上げた結果と思われる。

給食については、メニュー表の配布、レシピの公開など努力を重ねているところであるが、自由記載欄に、試食会が提案されているなど、さらに一層の“おいしい給食”を目指した努力が必要とされる。

* 「園生活」、「保育」、「行事」などの項目の評価が等しく90％以上と高いのに比較して、「連絡・連携」に関する項目のうち、「⑰感染症の状況の連絡」：88％、「⑱ケガなどをした際の説明・連絡」：90％、「⑲保護者との連携」：89％と低く、「⑭園だより、クラスだよりで、活動や日程がわかる」：96％に比較し、中位の評価にとどまっている。

「⑲保護者との連携は、前年度：92％でほぼ同一の水準であるが、「⑰感染症」については、随時、玄関に発生状況などを掲示しているが、自由記載欄で「インフルエンザの期間だけでもバスに状況を掲示してほしい」とあり、この点に関する園の努力が不足していると思われる。今年度については、昨年11月からリニューアルしたホームページの「お知らせ」にアップしているが、今後とも小まめなお知らせに心掛けたい。

また、「⑱ケガをした時の説明・連絡」については、ケガなど事故の状況を把握し、とにもかくにも“第1報”を徹底し、保護者の負託に応えていきたい。

* 「全くそうは思わない」というマイナス評価が、「⑫保護者の行事参加：4％」、「⑤給食が楽しみ：3％」、「⑲保護者との連携：3％」となっている。実数は、「給食」と「保護者」は、子ども3人、保護者3人からの回答であり、「保護者の行事」は子ども4人、保護者2人からの回答である。

給食については、プラス評価も低いことから、繰り返しになるが、いかに楽しい給食にしていくかは、今後、最優先に取り組むべき課題である。

「保護者の行事参加」については、自由記載欄に詳しいが、行事そのものについての評価ではなく、園の在り方についての意見と思われる。つまり、「こども園なのに、幼稚園色が強すぎて、平日の行事が多い。働くお母さん達の事も考えて～」、また、「1号メインでのレク行事などや、ＰＴＡのシステムに、仕事をしていて、職場への迷惑・負担をかけていることにずっと困っています」という内容である。

中央幼稚園としては、幼稚園においては、親子の触れ合いを大切にする観点から、参観日のほか、折々に親子レクを取り入れている。また、一方においては、「もっと親子で参加する行事を増やしてほしい」という意見もある。

今後については、保護者の参加する行事については、出来る限り、年間行事予定表に表示するなど、働くお母さんに対して配慮していきたいと考えている。

なお、2月のスケート教室について、スケートリンクの確保が遅れたことから、働くお母さん方に対して多大のご迷惑をおかけしたが、来年度については、年間行事予定表に表示したいと考えている。スケート教室については、例年、白鳥アリナーナを確保しているが、白鳥アリナーナは社会人チームが最優先とされ、アジアリーグなどで、王子イーグルスが勝ち上がった場合、今年のように急遽、キャンセルされる。したがって、来年度については、日程を確実にするために、急遽のキャンセルのない沼ノ端スケートリンクを確保したい。

* 今回のアンケートについては、幼稚園について全体的な満足度を質問したが、プラス評価が88％で、昨年度の単純加重平均：92％から、4ポイント少なくなっているが、今回の全体的な加重平均が91％であることから、ほぼ同一の評価と思われる。

４　自由記載欄

「その他」も含め、8分類、54項目の意見が寄せられました。提案、苦情、お褒めなど内容は多岐に渡りますが、園だより、連絡帳など園との「連絡」に関すること、ご指摘、お褒めなど「先生」に関することが多く寄せられています。

個別に回答することは控えますが、大きくは以下のように考えています。

1. 保育

幼稚園教育の基本は、「遊びを通しての指導を中心（[学習指導要領]第1章総則　第1幼稚園教育）とすると定められており、保育の具体については、この観点から様々な取り組みが期待されています。

今年度についても、幼小連携を狙いとした「若草小学校探検」、また、幼保連携を狙いとした「コスモスぐみ・保育園・交流会」など新しい取り組みを行っています。

また、「他クラスとの交流」ですが、誕生会などのイベントは幼稚園全体で取り組んでいるところですが、今後とも、他クラスとの交流に取り組んでいきたいと考えています。

1. 連絡

「園だより」は、保護者と園をつなぐ重要なツールの一つで、連絡事項を中心に、毎月1回、発行しています。「翌月の予定」については、保育園か、幼稚園か、年少か、年中か、年長かなど対象を付記するように心掛けていますが、プレについて配慮が不足していたことから、ご迷惑をおかけしました。率直にお詫びします。

また、「３まとめ・講評」に記載しましたが、スケート教室については連絡が遅れたことから、働く保護者に方々にご迷惑をおかけしました。来年度については、保護者の参加を予定している行事については、基本的に「年間行事予定表」に網羅する考えでいます。その他の連絡についても、分かり次第、最短で連絡するようにしたいと考えています。

クラスの保護者連絡網については、今後、登降園管理など幼稚園システムの中でか、あるいは、ご指摘のように単独で作り上げるか、いずれにしても導入を検討したいと考えています。

インフルエンザなど感染症の発生状況については、玄関に掲示するほか、ホームページの「お知らせ」に掲載しています。その他、今年度の雨天模様の運動会開催の可否など、迅速性が必要とされるものについては、ホームページに掲載する考えでいます。

1. 先生

先生方に対するご指摘については、もっともな点が多く、今後、接遇研修など強化していく必要があるものと思っています。ただ、一つだけ残念なのは、その場、もしくは、その先生がわかるように具体的に、指摘していただきたかったと思います。例えば、整理番号23番「挨拶をしてくれない先生」ですが、何らかの行き違いがあったものと思います。子どもの事故で、急に呼ばれて、職員室を飛び出したときに挨拶をされたなどの事情がある場合は、失礼しているかもしれません。その場、あるいは翌日でも指摘を受ければ確認できますので、今後はホームページの「お問い合わせ」、あるいは園長ダイレクトのアドレスへのメールなどでお寄せいただければ、迅速に処理し、回答したいと考えています。いずれにしても、このアンケート結果については、職員会議において話し合いたいと思っています。

また、お褒め言葉を数多くいただきました。何よりも先生方の励みになるものと、心から感謝しています。

1. 行事

行事については、保護者のかかり方をめぐって、整理番号18に詳しいのですが、幼稚園か、保育園か、保護者の意見が分かれています。上記「３まとめ、講評」で書きましたが、参観日を含め、行事その他保護者の参加を予定していることについては、「できる限り、働くお母さんに対して配慮していきたい」と考えています。

また、「その他」に分類した、整理番号51は、園の在り方そのもの対する指摘ですが、根底には保護者の関りがあると思います。上記の回答でお汲み取りください。

1. 給食

試食会が提案されています。今後、厨房（委託業者）と話し合いたいと思っていますが、来年度については、仮園舎なので、実現は来年度以降と考えています。

1. 仮園舎

来年度については、仮園舎の保育でご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、仮園舎の保育に対する影響を最小限にするように努力したいと考えています。

1. 駐車場

まず、現在、駐車場として使用している清水鋼鉄の借用地の入り口については、当該地が仮園舎予定地なので、しばし現状でお願いします。

また、路駐その他については、園でも折に触れて、お願いしますが、何より、保護者がお互いに気をつけるようにお願いします。

1. その他

整理番号54「アンケートは匿名で」の指摘ですが、今回のアンケートの実施に際して、職員会議で検討しました。匿名にすることによって、現在のＳＮＳで氾濫しているような、無責任な意見を寄せられても困る、匿名が必要なら、フリーメールアドレスから園あてに送ることができる、この二つの理由によって、記名方式としました。忌憚のないご意見をお願いしていますので、アンケートの拘ることなく、随時、ご意見をお寄せいただければと思います。